

徒長苗



老化苗



箱育苗では、高温多湿の条件下で過密状態で育苗させます。このため苗は地上部の伸びに比べて根の発育が抑制され、生理障害を受けやすくなります。「ナエベストン」は根の生育を促進し、葉巻きや葉先かれなどの生理障害を防止します。



健苗育成材

ナエベストン[®]

サンドセット[®]

水稻育苗床土用酸度調整材

育苗床土の最適pHは5.0前後です。床土のpHが適正でないと、生育が劣り、生理障害が発生しやすくなります。

「サンドセット」は土壤に混合するとただちに土壤pHを低下させ、その酸度を長く維持しますので、育苗期間中、健苗育成ができます。

サンドセット添加区



サンドセット無添加区



 サンアグロ

ナエベストン[®]

●特長

- ・根の発育を促進し、根量を増やし、健苗育成に著しい効果を発揮します。また、苗の徒長防止にも有効です。
- ・低温抵抗性を増し、葉巻きや葉先枯れ対策に有効です。
- ・根の活性を高め、活着を促進し、移植後の初期生育が旺盛になります。

●ナエベストンの使用方法

目的	時期	方法	摘要
健苗育成	稚苗：1.0～1.5 葉期 中苗：1.5～2.5 葉期	原液を水で 50 倍に薄め、1 箱当たり 500cc を灌注する。	特に、低温(10℃以下)が続く場合。
	本葉 2 葉頃、莖葉が農緑色のままロール状に巻き夕方になっても葉先に露が上がらなかった時		葉巻きが、現れたら直に灌注して下さい。葉先の枯れが若干残りますが、次に出でくる葉は正常です。
活着促進	田植 4～5 日前		移植後、速やかに活着します。

●ナエベストンの効果

(昭和 56, 埼玉農試)

処理苗の状態	試験区	処理後 4 日		移植後(処理 10 日後)			
		葉先枯	ロール葉	回復率	回復程度	草丈	葉数
ムレ苗程度 軽の場合	ナエベストン 50 倍 500ml / 箱処理区	少	無	100%	完	19cm	2.3
	無処理区	多	多	—	枯死	—	—
ムレ苗程度 重の場合	ナエベストン 50 倍 500ml / 箱処理区	中	中	100%	完	18	2.2
	無処理区	甚	甚	—	枯死	—	—

※ムレ苗発生程度の軽い場合：

ナエベストン区は処理 4 日後には回復し、移植時には葉先枯れが見られる程度に完治した。

※ムレ苗発生程度の重い場合：

ナエベストン区は回復がやや遅れたが、移植時には草丈がやや低い程度で移植に支障はない。

以上の試験から無処理区は完全に枯死したが、ナエベストンはムレ苗の予防・回復に顕著な効果が認められた。

サンドセット[®]

●特長

- ・混合後、直ちに pH が下がり、その酸度を長く維持します。
- ・粉状ですから、容易に床土と均一に混合できます。また、肥料と同時に混合してもさしつかえありません。
- ・混合後、直ちに播種できます。

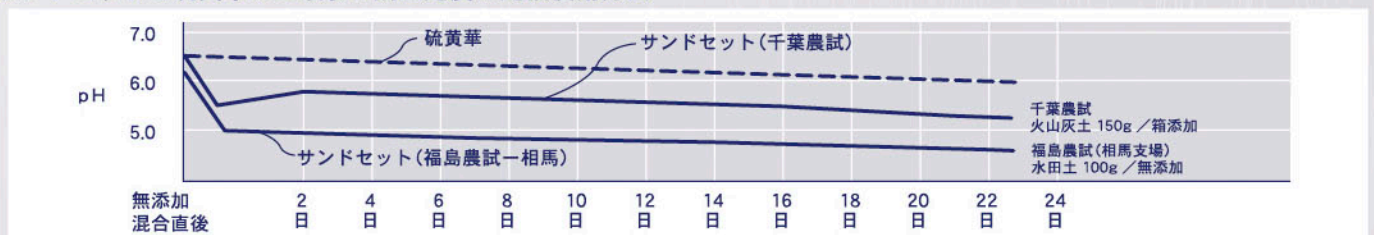
●サンドセットの使用方法

- ・育苗用床土・置床床土はあらかじめ pH を測定してください。
- ・下表から床土の pH が 4.8～5.3 になるようサンドセットの添加量を決めてください。
- ・床土とサンドセットをよく混合してください。

床土の pH を 5 前後に下げるためのサンドセットの添加量

区分 土質	育苗箱施用 (g / 箱)			置床(深さ 2cm の場合)施用 (g / m ²)		
	砂土	沖積土	洪積土・火山灰土	砂土	沖積土	洪積土・火山灰土
床土 pH 5.5	12.5	25	50	50	100	200
6.0	25	50	100	100	200	400
6.5	37.5	75	150	150	300	600

●サンドセットと硫黄華の土壌 pH 調整速度の比較使用方法



注意

- 食べられません。幼児等の手の届かない所に保管して下さい。
- 取扱にはゴム手袋等を使用して下さい。液や粉が手や眼に付着した場合、皮膚をおかすことがありますので、すみやかに多量の水で洗って下さい。特に眼にはいった場合は洗浄後、医師の診断を受けて下さい。
- 農薬と混合する場合は農薬の取扱説明書をよく読み、使用基準に従って下さい。また、混合した液は速やかに当日に使い切して下さい。
- 保管は直射日光を避け、乾燥した涼しい所を選んで下さい。
- 肥料の袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないで下さい。窒息するおそれがあります。
- 誤用を避け品質を保持するため、他の容器に入れかえたり、また他のものを入れしないで下さい。

「ナエベストン」「サンドセット」は日産化学株式会社の登録商標です。

製造

サンアグロ

取扱